

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ

会報



会 長 中武泰一郎
副会長 函 師 義 孝
幹 事 藤 本 範 行
例会日 毎週木曜日 12:30~
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第 1726 回 平成 24 年 2 月 16 日プログラム

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX披露 |
| 2. ロータリーソング | 8. 各委員会報告 |
| 我らの生業 雪 | 9. 会員卓話 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間 | 11. 点 鐘 |
| 5. 幹事報告 | |
| 6. 出席報告 | |

2730 地区ガバナー 長峯 基

中部分区ガバナー補佐 林 務

2730 地区テーマ

とにかく「善いことをしよう。」

高鍋ロータリークラブテーマ

原点をみつめ「団結」「創造」「挑戦」

2月の月間テーマ

世界理解月間

本日の例会案内 *100 万ドル

*会員卓話—三原正宏君

*例会終了後プログラム委員会

次週例会案内 ; 2 月 23 日 (1727 回)

*夜間例会 18:30~ 会場=四季亭

*米沢上杉ロータリークラブ来訪 歓迎会

第 1725 回 例会内容

■会長の時間

会長 中武泰一郎君

2月4日は立春でした。この日から立夏(5月5日)の前日までが暦の上の春です。節分の翌日で「春立つ」とも言い、「立春」になる事を「寒さ明け」ともいいます。「春の気立つをもってなり」。八十八夜(5月1日)・二百十日(8月31日)・二百二十日(9月10日)は、この日から起算します。



事故や災害など、緊急の事態で必要となるのが「輸血用血液」です。全国に66ヶ所ある血液センター・自治体等で献血が行われていますが、輸血用血液は慢性的に不足しているのが現状です。特に、冬季は寒さで外出を控える人が多いせいか、献血の絶対数が減り、いっそうの献血者が求められるのだそうです。

更に、提供された血液の有効期限は三週間。血小板では四日間。製造加工されたものでも1年間にすぎない。

昨年の輸血者数は、5百25万2千人余りで、医療機関等への供給数は、18百56万4千本余りです。献血者数も、平成7年の6百29万8千人からは大幅に減少しています。その多くが高齢者医療に使われている現状

がある。献血された方の約80%が50歳未満の人で、その内の約32%が16歳~29歳です。

このように、若い世代の献血が救命医療を支えている。しかし、10代は82万人(平成7年)から29万人へ。20代でも2百3万人から114万人へと減少しています。さらに、少子高齢化が進み、献血比率がこのまま推移すれば救命医療に重大な支障をきたす事になる。

その観点からも幅広い年齢層からの献血の必要が緊急の課題である。

本来、日本人には「冷静さ」「寛容さ」「協調性」「利他的精神」などの困っている人を放っておけない「美質」が備わっているものです。いついかなる時でもあっても、それを自然に発揮できるように、日常から、心を構えて臨んでいきたいものです。

■幹事報告

<文書案内>

*高鍋高校ラグビー部第91回全国大会出場特別後援会募金のお礼と会計決算報告

*2012-2013年度地区役員承認のお願い(メ切2/20)

*次期地区チーム研修セミナーのご案内

日時 2012年3月3日-4日

場所 城山観光ホテル

幹事 藤本範行君



＊中部分区幹事会のご案内

日時 2012年3月5日(月) 19:00～

場所 西都市あかのや

■出席報告

出席リーダー 福本幸良君

出席状況

会 員 数	46名
出席会員数	34名
ホーム出席率	85.00%
前々回修正出席率	95.00%



◇外部卓話

西都RC 上田 普 様

本日は、お招きいただき誠にありがとうございます。

私が、国際交流についてお話し申し上げて良いのか大変恐縮に存じますが、現在、西都クラブは、韓国南慶州

RCと大分宇佐八幡RCとの友好クラブ交流を続けておりますので、交流の検討から締結に至るまでの経験をお話しさせていただきます。

創立14年目1998-1999年度に友好クラブの検討を始めました。それまでは、他の団体と言えば、桜川プロバスケットクラブとローターアクトクラブだけでした。外国クラブとは何の関係もなかったのですが、その年度の地区大会に韓国のパストガバナーが来られまして、当クラブ会員の函師パストガバナーが韓国のクラブと友好交流やりたい旨をお伝えし、西都と同様古墳の多い慶州RCを紹介して頂きました。慶州RCを表敬訪問したり致しましたがなかなか進展せず、台湾のクラブを模索し、わざわざ台湾へも行き、台北周辺のクラブをあたりましたが、こちらも何の反応もなく断念致しました。

そして、これが最後という思いで、当時の会長・幹事・会長エレクト・国際奉仕委員長等、総勢8名で訪韓致しました。慶州RC訪問は単なるメーク扱いで、あきらめかけた時に、当時創立8年目という南慶州RCを紹介して頂きました。とんとん拍子に話が進み、交流が決まり帰国致しました。

翌年2月には南慶州RCより10名がやってきました。西都市長も同席し、歓迎会、ゴルフ、観光等と忙しかったのですが、5月には我々が訪韓し、南慶州RCとの友好クラブ調印までこぎつけたのです。こうしてようやく国際交流がスタートした訳です。

友好協定書には「両クラブは交流を通じて相互に理解を深め友好と親善を目的とする」その他いろいろありますが、WCS事業については両クラブが相談し実行するとなりました。

隔年ごとに互いの例会に出席し、歓迎会を開き、友情を深めてお互いの周年事業にも参加しています。その間



西都市長、西都観光課長も同行し、西都市観光協会と慶州市観光協会との調印式もできたのであります。

宇佐八幡RCは私どもより5年程早くから南慶州RCと友好関係にありました。南慶州RCの周年事業等で一緒になる機会があり、友情が生まれ、宇佐八幡RCとも友好クラブ調印を致しました。今年韓国で、来年は西都で、その次は宇佐八幡でという具合に、現在は3クラブ合同例会を行っております。ホストクラブは、歓迎会等いろいろ経費がかかりますので、参加会員から10,000円の登録料を集めています。又、数年前から、各クラブより30,000円を負担していただき、90,000円でホストクラブの地域に社会奉仕をしています。西都RCがホストの時は西都原前広場に木製の机と椅子を2セット寄付致しました。同様に南慶州RCも宇佐八幡RCもホストの時は社会奉仕をしています。

WCS事業も3クラブで検討し、第1回目は西都RCがホストでカンボジアに井戸20本を寄贈しました。第2回目は宇佐八幡RCがホストでタイに図書館を寄贈し、第3回目は南慶州RCがホストで、韓国の障害者施設に布団乾燥機を数台寄贈しました。

2008-2009年度は南慶州RCからガバナーが生まれて、地区大会に10名程で参加してきました。その他いろいろと交流の機会があり、その度に親交を深めております。

交流は、お金もかかり時間もいります。一つの事業をする時にいろんな波も起こります。

しかし、ロータリー組織は国際ロータリーでその名の通り国際的、全世界に広がるネットワークがあります。

そして信用があります。苦勞もありますが、一つの事業を成し遂げたときは、クラブの全会員がロータリーの素晴らしさを実感し、感動するのも確かです。

米沢上杉ロータリークラブ来訪日程のご案内

例会&歓迎会

日時 平成24年2月23日(木)

例会点鐘 18:30 歓迎会 19:00～

場所 四季亭

会費 3,000円

交流ゴルフコンペ

日時 平成24年2月24日(金) 9:00集合

場所 ハイビスカスゴルフクラブ

会費 2,000円



ミニラグビー大会へ助成金授与